都難言協会報

東京都公立学校難聴・言語障害教育研究協議会

コロナ禍における難言教育の推進に向けた都難言協の役割

東京都公立学校難聴・言語障害教育研究協議会
会長　木下　雅雄（多摩市立北諏訪小学校長）

令和三年度都難言協会長となりました。よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない状況が続いていますが、この一年間、都内公立小中学校において、感染症対策を工夫し、児童や保護者の方が安心して通級できる難聴・言語の指導を継続していただいていることに感謝申し上げます。

都難言協の運営について、昨年度は、これまで経験のない感染症への対応が求められる状況のため、様々な活動を中止する判断が続きました。

今年度は、この一年の感染症対応の中で得られた知見を生かし、都難言協を運営していくことになります。これまでの事業をそのまま行うのではなく、各事業の必要性を改めて検討し、実施する場合には、安心・安全の確保と事業の成果を両立させることが求められます。子供たち一人一人の豊かな成長のために、難聴・言語障害教育に携わる教員の専門性を高められるよう、コロナ禍に負けない研究・研修活動の工夫を組織的に進めてまいります。

東京都教育委員会をはじめ、関係の皆様には、今後も引き続き、御指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

◆主な内容◆

一面　会長挨拶　新設学級紹介
二面　課題に応じた支援方法　卒業生・保護者の声
三面　コロナ禍における指導の工夫
四面　専門委員会より　研究会案内他

✿　新設学級紹介　✿

板橋区立高島第六小学校　ことばの教室

今年度より、区内で３校目となる言語学級が高島第六小学校に開級することとなりました。今まで、板橋区内の東武東上線沿いは上板橋小学校、都営三田線沿いは志村第三小学校という形で通級区域を設定していましたが、本教室ができたことで区内の西側全体をカバーできるようになり、通級児童・保護者の負担が大幅に軽減できるのではないかと考えています。まだまだ成長過程にある学級ですが、「子供たちの笑顔のために」をモットーに教職員一同邁進していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

高島第六小学校ことばの教室
小瀬川智一

ホームページのご紹介　都難言協は、東京都の小中学校のきこえとことばの教室同士が密な連携をしていくこと、特別支援教育の振興発展を図ることを目的に運営しています。都難言協ホームページでは、資料の受け渡しや、会報、リーフレットのダウンロードなどができます。また、いろいろな人がきこえとことばの教室のことを知りたいと思ったときに役立てられるようにしたいという願いのもとに作成されました。これから先、更に充実したホームページにしていきたいと思います。

https://www.tonangen.com/

在籍学級でのお悩み解決方法（発音・吃音）

発音の練習をしているＡさん

学校の発表会、セリフを練習しているが、発音しにくい言葉がある・・・。

セリフの中の言いにくい言葉を、発音しやすい言葉に変えたら、堂々と発表できるようになったよ！

吃音の学習をしているＢくん

教科書の音読、一人で読むと吃音が出てうまく読めないから、国語の授業がゆううつ・・・。

音読の仕方を、一斉読みや二人読みにしてもらったよ。だれかと一緒に声を出せば吃音が出にくくなるから、音読の負担がなくなった！

※ここで紹介している例は、解決方法の一部です。通級児童・生徒の気持ちに耳を傾け、児童・生徒がどうしたいか、ともに支援策を考えていただけると嬉しいです。通級学級担任も在籍校と連携を取り合い、児童・生徒の希望に沿った支援を一緒に考えていきます。何かありましたら、遠慮なくご相談ください。

卒業生保護者の声

難　聴

〈卒業生の声〉

難聴学級は私にとって、先生、生徒たちとのコミュニケーションを難なく楽しくできる場所でした。難聴学級のある中学校に通うことができて、本当に良かったです。今は楽しく充実した高校生活を送ることができています。

〈保護者の声〉

難聴学級のある中学校に通うため都内に引っ越し、子供２人が各３年間お世話になりました。中学生は思春期の時期であって、友達とのトラブルもある中、先生たちにも相談することがありました。進路のことも一緒に考えてくださいました。ありがとうございました。

吃　音

〈卒業生の声〉

最初は吃音が気になっていたけれど、先生と一緒に話すうちに段々と吃音を気にせず学校で話せるようになりました。自分でどうやったら吃音になる回数を少なくできるかを研究して実際に試してみると効果があったりして嬉しかった。ことばの教室に通って良かったと思います。

〈保護者の声〉

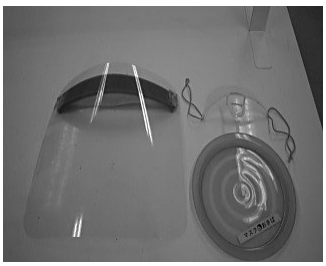
教室は吃音を心配することなく安心して話せる場所で、毎回嫌がることなく通いました。

先生との間で具体的な対話が進むにつれて、吃音を客観的に受け止めて対処できるようになり、自信がついたようです。

きこえとことばの教室では、こんなコロナ対策をしています

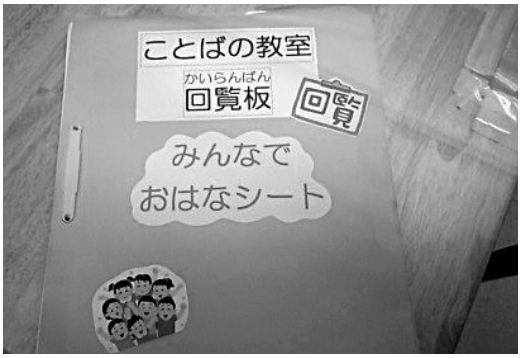
発　音

児童の口元を見て、適切な指導を行えるよう、各指導室にてアクリル板の設置をしています。横が約１００cm、縦が約７０cmあり、児童と教員の間に立て、毎指導後に界面活性剤を使用し消毒をしています。また、フェイスシールドを活用し、教員の飛沫が飛ばないようにしています。



吃　音

吃音がある児童同士の交流は、掲示板、回覧板、動画でのやりとりなどと工夫して行っています。また、アンケートを作成して他の通級児童に配布し、自分以外の吃音がある児童の意見を取り入れるなどして、吃音の理解指導につなげています。



言語発達・コミュニケーション

児童同士が対面して行う交流が難しかったため、クロスワードパズルや本の紹介、クイズを作成して、交流掲示板に掲載しています。他の児童の作品に興味をもつ児童が多く、クイズに答えたり、自身も作成をしたりと活動の幅が広がりました。

難　聴

透明マスクを購入し、各教員の口元が見えるようにして指導を行っています。在籍学級にも難聴の理解啓発をすすめ、担任の先生にも透明マスクを使用していただきました。また、マスクを着用した新しい生活様式の中で困った場面などを話題にし、聞こえにくい場面の対処法などを話し合う学習につなげています。

その他（施設面の整備）

・検温
・手洗い、うがい
・教室の換気
・待合室の間隔をあける
・消毒
・書籍の貸し出しを中止

専門委員会

■研究推進委員会

難言教育に携わる教員の専門知識や指導技術を向上していくために、「専門研究会」「ブロック研究発表会」「課題別研究会」「事例研究会」「基礎研究会」を企画しています。実施方法を工夫して充実した研修・研究が行えるよう努めます。

■調査・対策委員会

指導をより充実させるために、各学級の実態を把握し、その時に生じた課題の解決に向けて活動していきます。

・基本調査の集計、結果の報告
・都・区市教委への「提案書」作成
・都教委との意見交換会
・関係団体との合同研究会記録等

■広報委員会

会員の皆様に役立つ、様々な情報を発信しています。

・会報（年二回）　・紀要
・継送電話連絡網　・設置校一覧

それぞれについてお気づきの点がありましたら、お知らせください。

また、ホームページに掲載したい事柄の相談も、お受けしています。

広報委員会担当　文京区立金富小学校
ことばときこえの教室　内藤かのこ

大会・学会・研究会などのお知らせ　※最新の情報はＨＰ等でご確認下さい。

第50回全難言協全国大会（山梨）

＊大会の内容については年度末の機関紙にて紙面発表
＊お話をいただく予定だった先生方のご講義を動画にして、オンデマンドで配信

第55回全日本聾教育研究大会（島根大会）

【大会主題】
子どもたちが自分らしく主体的に生きる姿を目指して
【日程】１０月１４日（木）・１５日（金）
【オンデマンド配信】指定授業（幼稚部、小学部、中学部、高等部）、寄宿舎研究発表
【記念講演】庄司　和史氏（信州大学教授）
【ライブ配信】授業研究分科会（幼稚部、小学部、中学部、高等部、寄宿舎）
【問い合わせ先】
第55回全日本聾教育研究大会（島根大会）事務局
〒690-0121　島根県松江市古志町191-6
TEL：0852-36-7222　FAX：0852-36-7223
E-mail : shimane@zennichiro.jp

第53回全国情緒障害教育研究協議会

【日程】１１月２８日（日）
【会場】亀戸文化センター
【問い合わせ先】全国情緒障害教育研究会
事務局長　植草葉月
E-mail : zenjoken@gmail.com
☆お問い合わせはメールにてお願いいたします

第54回日本言語障害児教育研究大会

＊YouTube配信
【期間】８月３０日（月）～９月３０日（木）
【方法】YouTube動画場面からパスワードを入力して視聴
【問い合わせ先】E-mail : nichigenken@gmail.com

Ｋ－ＡＢＣアセスメント講習会

日本版ＫＡＢＣ－Ⅱベーシック講習会
【日程】　10月２日（土）・３日（日）
2022年３月５日（土）・６日（日）
【会場】林野会館（東京都文京区）
【問い合わせ先】E-mail : honbu-koushu@k-abc.jp

事務局より

今年度の事務局は新たに情報担当を設けた多摩南ブロックと、ＨＰ運用のために多摩北ブロックと城西ブロックから一名ずつ担当します。

コロナ禍により、例年通りの活動ができませんが、役員の方々と安全面を第一に今できることを話し合いながら進めてまいります。会員の皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

―編集後記―

今年度も引き続き、新型コロナウイルス対策を継続していきます。

ご多用の折、原稿をお寄せいただいた皆様に、厚くお礼申し上げます。

都難言協会報
代表者（会　長）木下　雅雄
責任者（広報委員長）野崎　信行
発行日　令和三年七月一日
発行数　五五一〇部
印　刷　有限会社　正陽印刷